

# 第11回お庭の生きもの調査 2025

## 調査結果のご報告

### 調査結果の概要

- ・ 2025年度の調査では2つの調査で合わせて、32目129科230種が確認されました
- ・ 目撃の多い種はスズメ、アゲハ、ニホントカゲなどであり、2019年度までと似た傾向でした
- ・ 複数の庭でチュウゴクアミガサハゴロモが見つかったことが2025年度の特徴といえます



スズメ

「はじめてのお庭の生きもの調査」入力フォームより



アゲハ

調査員提供



ニホントカゲ

調査員提供



チュウゴクアミガサハゴロモ

調査員提供

### 調査したお庭

調査庭数: 31庭

(16都府県)

報告件数: 687件

有効報告件数: 664件

- ・ 観察方法は「庭を歩いて見る」と「手入れをしながら見る」が9割で、お庭に出て記録を取った方がほとんどでした
- ・ お庭の種類は「1階の地表面」が9割でした
- ・ 調査員の半数がお手入れの頻度は「月2回程度」と「週1回程度」と回答しており、お庭への興味関心が高いことがわかりました

### 調査の方法

#### 調査目的

個人宅の庭を訪れる生きものを定点で観察し、そのデータを収集することで、生物多様性の現状把握と保全・回復のための施策立案の基礎データとして活用すること。

#### 調査期間

- ・ 2025年4月1日(火)  
~11月30日(日)
- ・ 月1回

#### 調査の種類

- お庭の生きもの調査
  - ・ 鳥類、昆虫類などの動物
  - ・ 調査月、ユーザー名、分類群、種名、一度に見た最大個体数を記録
- はじめてのお庭の生きもの調査
  - ・ スズメ、白いチョウの仲間など20の調査対象種群について見た、いなかったなどの項目を選択して記録
  - ・ ほか調査月、ユーザー名を記録

#### 調査場所

- ・ お庭の敷地内
- ・ ベランダ、バルコニーの内側
- ・ 屋上の内側

## お庭の生きもの調査結果 概要

### 1. 調査したお庭

- 調査庭数：30庭  
(16都府県)
- 報告件数：669件
- 有効報告件数：646件
- ・観察方法は「庭を歩いて見る」と「手入れをしながら見る」が多く、合わせて90.0%でした
  - ・お庭の種類は「1階の地表面」が93.3%でした
  - ・お手入れの頻度は「月2回程度」と「週1回程度」が多く、合わせて50.0%でした

### 2. 調査結果

- ・32目129科230種が確認されました
- ・最も種数の多い分類群は昆虫類で、次いで甲殻・鋏角類、鳥類の順でした
- ・報告件数が最も多いのはスズメとアゲハであり、次いでヒヨドリでした
- ・一度に目撃した最大個体数はアブラムシ科の一種やダンゴムシ科の一種など集合する習性のある種で高くなりました
- ・2019年までに確認されていないチュウゴクアミガサハゴロモ(外来種)が複数のお庭で確認されました

表1 各分類群の報告種数

分類群名	目数	科数	種数
ほ乳類	4	5	5
鳥類	3	15	18
両生・爬虫類	2	6	6
昆虫類	16	86	178
甲殻・鋏角類	4	13	19
その他	3	4	4
合計	32	129	230

表2 お庭の生きもの調査出現種一覧及び一度に目撃した最大個体数別報告件数(上位種抜粋)

目名	科名	種名	合計件数	一度に目撃した最大個体数										備考		
				1	2~5	6~10	11~15	16~20	21~30	31~50	51~100	101以上				
ほ乳類(上位3種)																
コウモリ	-	コウモリ目の一種	2	2												
ネズミ	ネズミ	クマネズミ	2	2												
ネコ	ジャコウネコ	ハクビシン	3	3												
鳥類(上位6種)																
ハト	ハト	キジバト	10	6	4											
スズメ	カラス	オナガ	7	4	3											
	シジュウカラ	シジュウカラ	10	2	8											
	ヒヨドリ	ヒヨドリ	20	9	11										営巣報告あり	
	メジロ	メジロ	8	5	3											
	スズメ	スズメ	21	3	16	2										
両生・爬虫類(上位4種)																
無尾	アマガエル	ニホンアマガエル	8	8												
有鱗	ヤモリ	ニホンヤモリ	3	3												
	トカゲ	ニホントカゲ	12	7	5										幼体報告あり	
	カナヘビ	ニホンカナヘビ	8	7	1											
昆虫類(上位11種)																
トンボ	トンボ	シオカラトンボ	7	2	5											
カメムシ	ハゴロモ	チュウゴクアミガサハゴロモ	10	3	1	2	1								幼虫報告あり	
	セミ	アブラゼミ	7	6	1											
チョウ	アブラムシ	アブラムシ科の一種	3								2			1		
	シジミチョウ	ヤマトシジミ	20	9	11											
	タテハチョウ	ツマグロヒョウモン	13	8	5										幼虫報告あり	
	アゲハチョウ	アオスジアゲハ	アオスジアゲハ	8	7	1										幼虫報告あり
		クロアゲハ	クロアゲハ	7	6	1										
		アゲハ	アゲハ	21	11	10										幼虫報告あり
	シロチョウ	モンキチョウ	8	8												
	モンシロチョウ	モンシロチョウ	10	4	6											
甲殻・鋏角類(上位6種)																
ワラジムシ	ワラジムシ	ワラジムシ科の一種	2				1	1								
	-	ダンゴムシ類の一種	14	2	5	2	2	2	1						オカダンゴムシを含む	
クモ	ジョロウグモ	ジョロウグモ	6	6											幼体報告あり	
	ササグモ	ササグモ	3	2	1											
	ハエトリグモ	シラヒゲハエトリ	3	3												
その他(上位3種)																
マイマイ	-	ナメクジ類の一種	5	4		1									ナメクジ属の一種を含む	
	-	カタツムリ類の一種	2	2											ウスカワマイマイを含む	
	-	ミミズ類の一種	8	3	5											

### 報告件数第1位！ スズメ



「はじめてのお庭の生きもの調査」入力フォームより

- ・ 2～5羽、まとまって観察されることが多かったです
- ・ サクラの蜜をなめる様子が観察されました(4月・福島県)

### お庭で巣作り ヒヨドリ



調査員提供

- ・ コブシの蕾(4月・長崎県)、キンカンの実(4、11月・東京都)などを食べていました
- ・ 巣作りが観察されました(7月・福島県)

### 報告件数第1位！ アゲハ



調査員提供

- ・ キンカンの木の周り、成虫が飛んでいる様子がよく観察されました(4、5、8月・東京都)
- ・ 幼虫も確認されました(4、5月・東京都)

### 春から秋までずっと見られる ヤマトシジミ



調査員提供

- ・ 昆虫類の中で唯一、4～11月を通して報告されました
- ・ ほぼ毎日見かけるといふ報告もありました(8月・東京都)

### 両性類は1種のみ ニホンアマガエル



調査員提供

- ・ 両生類は本種1種のみが2庭で確認されました(福島県・静岡県)
- ・ 枯葉の下や茂みで見つかりました

### お庭で日向ぼっこ ニホントカゲ



調査員提供

- ・ 爬虫類では最も早い4月から観察されました
- ・ 2～5個体が同時に見つかることもあり、幼体も含まれていました(埼玉県、神奈川県など)

### 一度にたくさん見つかる！ ダンゴムシの一種



調査員提供

- ・ 草取り中(4、7、10月・埼玉県)や植木鉢の下(11月・東京都)で観察されました
- ・ 一度に2～15個体見つかることが多かったです

### お庭に巣をつくる ジョロウグモ



調査員提供

- ・ クモの仲間の中で最も多く確認されました
- ・ 幼体も観察されました(7月・埼玉県、8月・東京都)

### 分布拡大中！ 今後も追跡したい生きもの 北上中！ ツマグロヒョウモン



調査員提供

- ・ 1980年代までは近畿以西で見られるチョウでしたが、福島県からも報告がありました
- ・ スミレが咲くお庭では毎年見るとの報告もありました(福島県、東京都)

### 今年の注目種 チュウゴクアミガサハゴロモ



調査員提供

- ・ 国内で2017年ころから確認され始めた外来種で、本調査では初めて確認されました(6、8、9、11月・東京都)
- ・ ミカンやつるバラ、エゴノキで見つかっています

## はじめてのお庭の生きもの調査結果 概要

### 1. 調査したお庭

調査庭数：4庭  
(4都県)

報告件数：18件

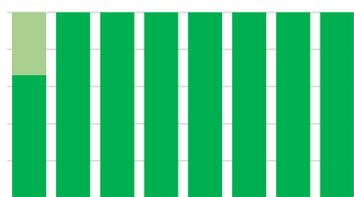
有効報告件数：18件

- ・観察方法は「庭を歩いて見る」が1庭、「手入れをしながら見る」が3庭でした
- ・お庭の種類は「1階の地表面」が3庭、「バルコニー」が1庭でした
- ・お手入れの頻度は「月2回程度」が2庭、「週3回程度」が1庭、「毎日」が1庭でした

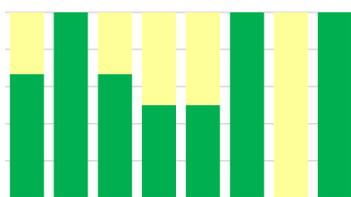
### 2. 調査結果

- ・20の調査対象種群のうち18の生きものが確認され、黒いアゲハチョウの仲間とカマキリの仲間は確認されませんでした
- ・調査期間を通して確認された生きものの中でも、とくにクモの仲間は8か月間継続して見られました
- ・季節によってみられる生きものが変化する様子がありました

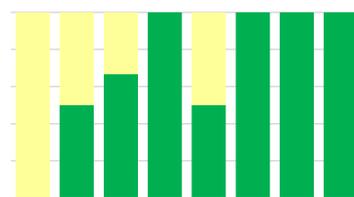
#### 調査期間を通して確認された生きもの



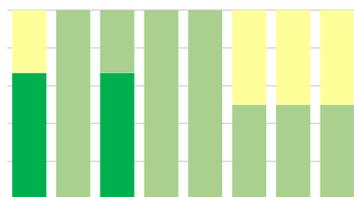
クモの仲間



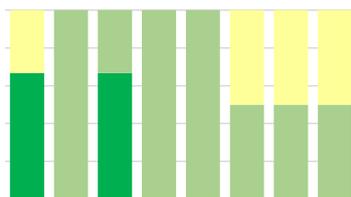
黄色いアゲハチョウの仲間



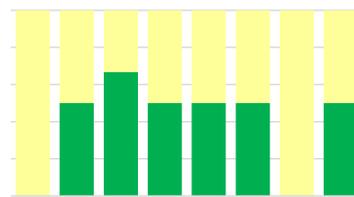
アリの仲間



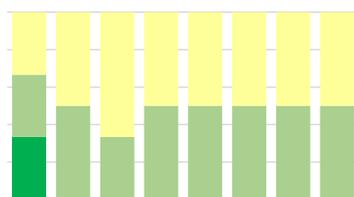
スズメ



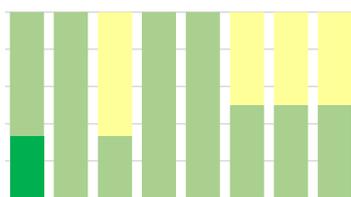
コオロギの仲間



カタツムリ・ナメクジの仲間

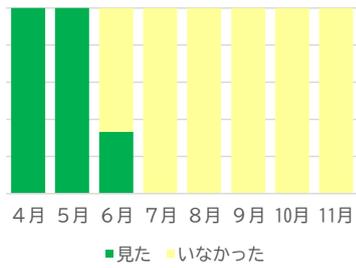


シジュウカラ

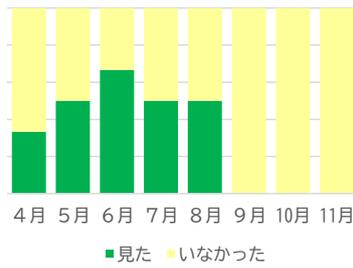


ヒヨドリ

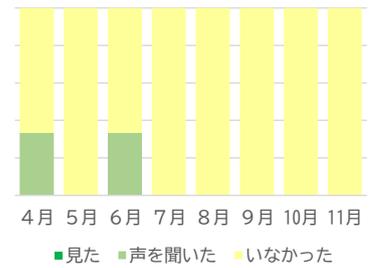
春から夏に確認された生きもの



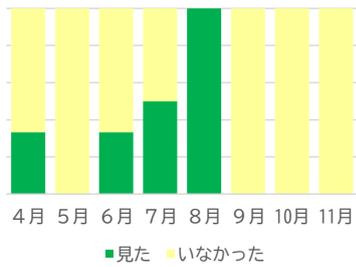
ミツバチの仲間



白いチョウの仲間

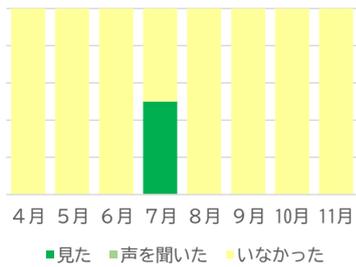


カエルの仲間

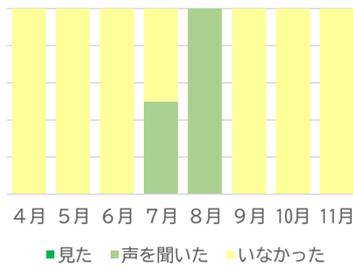


スズメバチ・アシナガバチの仲間

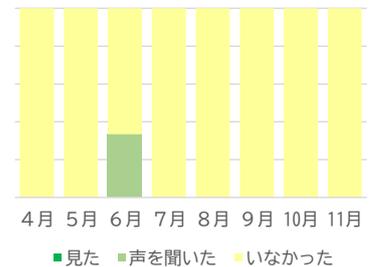
夏に確認された生きもの



クマゼミ

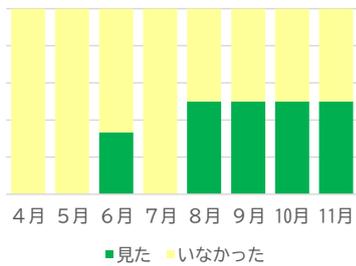


ミンミンゼミ

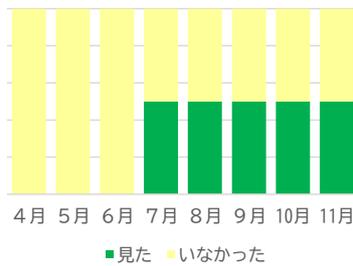


ツバメの仲間

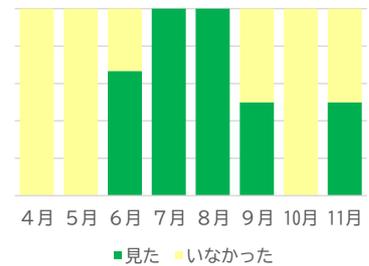
夏から秋に確認された生きもの



ショウリョウバッタ



オンブバッタ



トンボの仲間

2026年1月30日  
「お庭の生きもの調査」事務局

詳しい調査結果や「お庭の生きもの目録」は調査員専用ページで公開いたします。  
調査員登録の上、ぜひご覧ください。

主催



N P O 法 人  
生態教育センター

<http://www.wildlife.ne.jp/>

「お庭の生きもの調査」事務局

〒189-0013

東京都東村山市栄町 2-28-5 小河原ビル 3F

お問合せフォーム:

<https://www.wildlife.ne.jp/ikimono/ask/>